

令和3年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果
	(A)+(B)	(A)うち令和3年度の 森林環境譲与税（千 円）	(B)うち他の財源（千 円）		
木製複合遊具更新工事（さかい西公園）	17,490	9,341	8,149	市立さかい西公園に存する木製複合遊具の老朽化に伴い、木部全てに多摩産材を利用した複合遊具に更新及び改修した。	令和3年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、幼児用・児童用の木製複合遊具及び木材を枠材に使用した砂場を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。
東京の森を守る武蔵野市の取り組み等映像制作業務	800	800	0	本市が行っている東京の森を守る取り組みについて、ドローン空撮含む現地の撮影や取材を実施し、動画を制作し、市報やホームページだけでない手段で、広く効果的に情報発信した。	「二俣尾・武蔵野市民の森」及び「奥多摩・武蔵野の森」の取組みの概要と森林整備の重要性を5本の動画（英語版含む）にまとめ、YouTubeで公開し、広く啓発を行った。
第4期二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に基づく啓発事業	1,838	1,838	0	森林のもつ公益的機能をより一層活かすため、適正な森林整備をすると共に、自然と触れ合う機会の少ない都市住民が自然体験の出来る場として活用する。令和3年4月1日から開始した第4期協定では、協定区域を拡大し、withコロナ時代に対応する事業として再スタートした。	「二俣尾・武蔵野市民の森」（9.86ha）の適切な維持管理を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら「森の市民講座」を2回開催し、森の散策と森の素材を活用したクラブを市民に体験する機会を提供した。